



—島原半島随一の絶景とサイクリングロードを巡る旅—

“島原半島サイクルツーリズム in 南島原”取材体験会のご案内

自転車初心者にもオススメ！電動アシスト自転車でサイクリングの楽しさを体験！

★日程:2023年12月1日(金)★

集合9:45～解散時間17:00(予定)

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

島原半島では、島原半島南東部を走っていた島原鉄道南線の廃線跡地の約32kmを自転車歩行者専用道路として整備するなど、「サイクルのまち」として新たな観光コンテンツを開発し、交流人口の拡大を図る動きが進められています。

これまでの長崎県のイメージとしては、「坂の町」として、一度も自転車に乗ったことがないという県民も珍しくありませんでしたが、電動アシストのついたスポーツタイプの自転車“E バイク”というゲームチェンジャーの登場により、これまで負の側面で語られがちであったアップダウンが、アクティビティに最適な場として多くの方に楽しめる場になりつつあります。

このため、当連盟では令和4年度より県の補助金を活用し、半島3市と協力し、ルート造成やサイクルラックの設置などの環境整備を通じ、サイクルツーリズムの推進を図っております。

そこで、これからの島原半島の新たな観光コンテンツの魅力を報道関係の皆様にご理解をいただきたく、取材体験会を実施することといたしました。今回の取材体験会では、Eバイクに乗り、島原鉄道の廃線跡に整備中の自転車歩行者専用道路を中心に走り、島原半島のはじまりともいえる約430万年前の火山の噴火による地層を見ることができる早崎半島をぐるりと周ることでサイクルツーリズムの醍醐味を味わっていただき、自転車の旅ならではのスポットやグルメもご覧いただけます。

また、体験後には今後のサイクルツーリズムについて、記者の皆さまとツーリズムを推進されている地元の方々、自治体担当者として意見交換会を予定しております。

時節柄ご多忙中とは存じますが、ご参加ご検討いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

【“南島原市サイクルツーリズム”取材体験会実施概要】

(現時点の予定であり、変更の場合があります)

12月1日(金)	取材ポイント
<p>【集合】 9:45 口之津港ターミナル ※敷地内駐車可 ※南島原市口之津町丙 4358 番地 6(地図は右下)</p> <p>【体験会】 Eバイクでレジャーサイクル体験(約34km、実走3時間程度) 口之津港ターミナル⇒(8.5km)⇒花房展望所⇒(3.6km)⇒ ⇒南申山棚展望台⇒(6.6km)⇒両子岩⇒(4.1km)⇒ ⇒魚勝(昼食:冬のそうめん料理)⇒(0.8km)⇒ ⇒サイクルショップあらしき・加津佐商店街⇒(0.9km)⇒ ⇒前浜海水浴場⇒自転車歩行者専用道路経由(5.0km)⇒ ⇒瀬詰崎灯台⇒(0.8km)⇒あこう群落⇒(3.3km)⇒ ⇒THE VENUS⇒(0.6km)⇒ ⇒口之津港ターミナル着(15:00頃)</p> <p>【意見交換会】 15:30 口之津港ターミナルビル2階会議室</p> <p>【解散】 17:00</p> <p>★当日緊急連絡先:090-3324-7158(吉野)</p>	<p>○花房展望所:市内の女島や岩戸山、愛宕山、富士山、早崎半島が一望でき、約430万年前から150万年前までに島原半島の南端で発生した火山噴火の過程が観察できます。</p> <p>○ジオサイト(両子岩、早崎半島):長崎県の南東部に位置している島原半島ユネスコ世界ジオパークは、雲仙火山が形づくる景観と、火山がもたらす恵みが見どころです</p> <p>○サイクルショップあらしき:長崎県二輪車自転車商協同組合理事長でもある荒木代表が営む地元の自転車店で今後の展望を取材いただきます。</p> <p>○加津佐商店街:フランス菓子店「グラン ビアラジュ」にてじゃがいもケーキ「カツァ」でもぐもぐタイム!</p> <p>○瀬詰崎灯台:島原半島南端に位置する灯台で、壮観なうず潮と展望所にある「幸せの鐘」は一見の価値あります。</p> <p>○THE VENUS:東京から移住された浜田純子さんが開業資金0で始めたカフェで一休み。</p>

- 参加数:1媒体につき1名様といたします。**7媒体社様まで。定員になり次第、締め切ります。**
- 取材要項:取材に関しては下記の対応をいたします。**交通費支給のため、印鑑をご持参ください。**
各地取材アテンド/現地までの交通費(一律3,000円)/食事代(昼食・茶菓子)/ツアー中の各種取材調整
- 天候その他の事由により、延期や行程変更の可能性があることを予めご了承ください。
- 動きやすい服装でご参加ください。
- 各所(上記下線部)での取材時間の目安は約10分ずつの予定です。
- その他、ご不明な点等がございましたらお問い合わせください。



【本件に関するお問合せ先】 一般社団法人 島原半島観光連盟(サイクル担当:吉野)
TEL: 0957-62-0655 Mail: yoshino@shimakanren.com

主催:(一社)島原半島観光連盟 共催:南島原市、島原市、雲仙市、長崎県島原振興局

<取材体験会の見どころ>

◆南島原市自転車歩行者専用道路

南島原市では島原鉄道跡地を軸とした「自転車歩行者専用道路」の整備を進めており、市民の日常生活を支える快適な自転車通行空間を確保した上で、人・自転車・自動車それぞれの移動の安全を確保しながら、自転車を活用した交流機会づくりや地域の魅力を巡り楽しめる環境づくり、健康増進のための施策に活用していくこととしております。

南島原市内で整備する区間は32.1kmであり、現在は部分開通している約11kmの各区間を周辺エリアと合わせて観光周遊していただけるよう、島原半島観光連盟や県と協力し、環境整備や地元の機運醸成に取り組んでいるところです。



◆島原半島サイクリング「イコモン」

雲仙普賢岳を中心に火山の恩恵を受けた肥沃な半島は、豊かな自然と歴史、まちと人が共存し、四季折々で様々な景色や風景を楽しむことができます。

その半島では現在、島原鉄道南線の廃線跡(約32km)に自転車歩行者専用道路を通る106kmの半島一周ルートを整備中です。

車では行きづらい道の先にある、でも徒歩だと遠すぎていけない...

自転車だからこそ"行ける・気づける・感じられる"という、まだ見ぬ島原半島の魅力を見つけていただけるという醍醐味があります。

また、当サイクルツーリズムの愛称を島原半島の方言で「行こうよ!」の意味である「イコモン」とし、サブタイトルとして同じく方言で「どんどん〇〇する」の意味である「GOI GOI(ゴイゴイ)」としました。

シンボルマークは島原半島の美しい山、豊かな海をモチーフにデザイン。

自転車を眼鏡、山を眉毛、海をヒゲに見立て、明るさと親しみやすさを感じられるようキャッチーなマークとしました。

島原半島サイクリングロゴマーク



◆Eバイク

ペダルの効率を追求し、ダイレクトに推進力に繋がる仕様になっている自転車。疲れにくいことや実用性はもちろん、バッテリー容量も大きいので長距離走行が可能。いわゆる“ママチャリタイプ”の「電動アシスト自転車」とは異なり、ロードバイクとマウンテンバイクを融合させた“クロスバイク”に電動アシストが付いたスポーツタイプの自転車。

Eバイクの登場により、これまで自転車走行に不向きとされてきた坂道が多いエリアが、アップダウンを楽しめる「アクティビティ」の場として利用できるようになります。

南島原市においては、現在27台のレンタサイクルを原城温泉真砂と有馬キリシタン記念館の2箇所に設置、原城跡や観光施設などへ向かう観光客が利用。

また、島原半島内では、それぞれ観光団体等が運営するレンタサイクル事業で複数のEバイクを導入し、アクティビティや周遊観光に活用されています。

(運動強度について)

※あくまでも目安ですが、普段は自転車に乗らない担当者(20代~60代男女10名)が天草を40km程走行した際はリタイア0、少し物足りないくらいの疲れ具合でした。



レンタサイクル ①島原観光ビューロー、②雲仙観光局



★意見交換会参加予定者

自治体担当者、観光団体、サイクルイベント団体、観光事業者、地元住民など

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、ご取材のご希望の場合は本用紙にご記入の上、

11月22日(水)までにご返信下さいますよう、よろしくお願い致します。

※なお、誠に勝手ながら定員になり次第締め切らせていただきます。

『“南島原市サイクルツーリズム”取材体験会』参加申込書

FAX:0957 -62-0680

Mail:yoshino@shimakanren.com

ご参加の方は、表中の空欄をご記入下さい。

「“南島原市サイクルツーリズム”取材体験会」に参加を希望します。

ご氏名	年齢・性別	所属部署・役職
フリガナ	歳	
	男 ・ 女	

〔ご連絡先〕

会社名／媒体名:

当日のご連絡先(携帯番号):

e-mail:

ご取材に関するご要望:

アレルギー・苦手な食べ物:

【参加に関するお願い】

●出発日の朝、各自検温実施にご協力をお願いいたします。次のような症状がある場合には、ご参加をお控えください。

- ①37.5℃以上の発熱があった場合
- ②極端な咳、吐き気や嘔吐など風邪の症状がある場合